

# たるみ歯科通信



2018年2月号 No.86

こんにちは。歯科衛生士の岡本です。

まだまだ厳しい寒さが続きますが、いかがお過ごしですか？

2月は節分やバレンタインなどのイベントがあるので楽しみです。

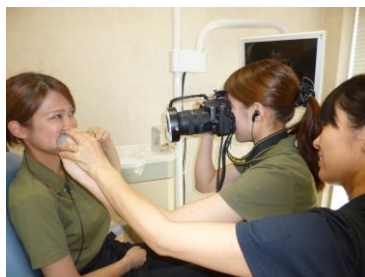


さて、今回の通信は、私たち歯科衛生士の仕事のひとつである、患者さんのお口の中の状態を把握するための「資料」を採ることについてご説明します。

## 口腔内写真

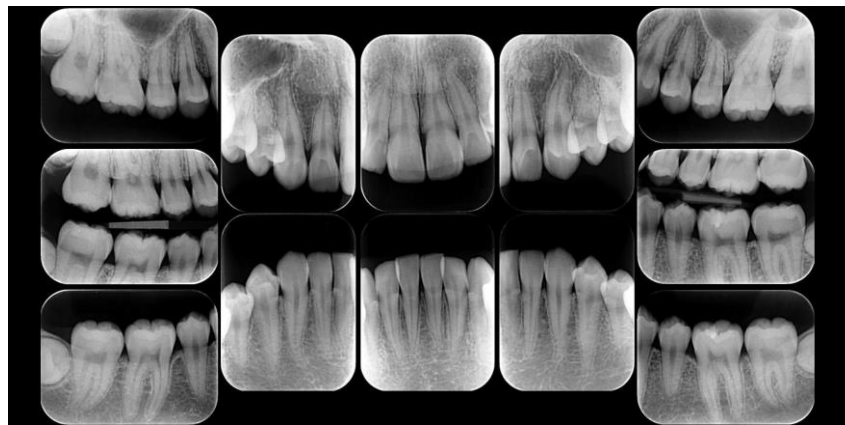
お口の中の状態を写真に残します。  
初診の方の治療計画を立てるときや、  
変化を診るときに使う資料で、  
定期健診を続けていく上では  
必要不可欠なものです。

私たち歯科衛生士は5分ほどで12枚の規格写真を撮影できます。



## X線写真撮影

お口全体のレントゲン写真を撮って、歯や歯を支えている骨の状態、神経の処置をしている歯の根の状態などを確認することができます。



## 歯周病検査

実際に歯ぐきを触って、歯と歯ぐきの境にある溝の深さ（歯周ポケット）、歯ぐきからの出血の有無、歯の動揺、歯垢の量などを調べて、歯周病の状態を診査します。

### 歯周ポケット検査



通常3mmぐらいの深さですが歯周病が進行すると5mm以上にもなります。

私たち歯科衛生士は「正確な資料」を  
短い時間でしっかり採れるように日々練習に励んでいます。

### 2月の予定

- ☆ 矯正診療日は **15日(木)午後** です。
- ☆ 院内研修のため **16日(金)午前** は **休診** といたします。